内子町議会が人事案件に同意
新しい「教育長」に井上氏

井上 淳一 教育長

内子町議会本会議が3月18日に開かれ、3月31日付けで辞職する亀岡忠重教育長の後任に、教育委員会自治・学習課（3月現在）の井上淳一氏（60）＝本町1＝を任命することに同意しました。

4月から改正される「地方教育行政法」により、従来の教育委員長と教育委員の職務を持つ「新教育長」で、任期は3年間となります。

人権が尊重される地域を目指して
「人権・同和教育研究大会」を開催

露の新治さんの講演。手話通訳士が内容を手話で伝える

「内子町人権・同和教育研究大会」（町教育委員会および町人権教育協議会主催）は3月5日、文化交流センタースバルで開かれました。

はじめに小西元気さん（内子小5年）、船本麗衣さん（小田小6年）、山岡沙衣さん（五十崎中2年）が人権作文を発表。続いて内子中学校人権委員会の皆さんが、障がい者支援施設「野村学園」（西予市）との交流について発表しました。

講演会では、落語家の露の新治さんが「新ちゃんのお笑い人権高座」と題して登壇し、「周りと比べても仕方ない。自分の芯を持ってどう生きたいかを考えて」と呼び掛けました。

全国大会出場おめでとう
選手6人を応援する壮行会

全国大会出場者の壮行会が3月11日、内子町役場で開かれました。帝京第五高校バレー部の5人と内子小5年の篠崎翔さんが出席し、稲本隆壽町長から激励金が手渡されました。

2年連続出場となる同校の重松未来さんは「セッターとしてチームの良さを引き出したい。まずは1勝を目標に、みんなで力を合わせて頑張る」と抱負を語りました。

壮行会に出席した皆さん

■全国大会出場者一覧（敬称略）

氏名（区名）	競技名	大会名	会場	大会日程
山崎 優香（江子） 樽岡 愛（喜田村） 宮津 彩香（大久保） 宮内 優華（本村） 重松 未来（立石）	バレーボール	第21回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会	東京都町田市立総合体育館	3月22日～25日
篠崎 翔（内子8）	水泳	第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会	東京都辰巳国際水泳場	3月26日～30日

不思議な笑いで観客を魅了
狂言とコントが一つの舞台に――

内子座創建100周年記念公演の「現代狂言X」が3月13日、内子座で開かれました。現代狂言は、お笑い芸人の南原清隆さんや狂言師の野村万蔵さんらが、コントと狂言の融合に挑戦した舞台で、10年目を迎えます。

公演ではまず、南原さんが「今日は狂言の世界にどっぷりと入ってほしい。たくさん笑って健康になって」とあいさつ。続いて古典狂言の「千切木」と、新作狂言「不思議なフシギな鳥獣茶会」が披露されました。新作狂言は不思議な洞窟を舞台に、時空を越えて現代人や西洋人が登場したり、現代語で演じたりとコントに近い内容。今も昔も変わらない人間の喜怒哀楽を表現した舞台は、観客の笑いと感動を誘い、最後は鳴り止まない拍手に包まれていました。

1_千切木の一場面　2_新作狂言では出演者が現代的な言葉や衣装で演じる

交流30周年を記念して
ローテンブルク市訪問団が来町

内子町の姉妹都市ドイツ・ローテンブルク市から3月21～26日、公式訪問団が来町しました。同市との交流が始まった1986年から30周年、姉妹都市盟約を結んでから5周年に合わせた事業で、ヴァルタ・ハルトル市長を含む31人が、日本文化の体験などを通じて内子町民との交流を深めました。

訪問団は22日、小田小学校を訪問。児童とコマで遊んだり、給食を一緒に食べたりして楽しみました。夜には歓迎交流会を開き、太鼓演奏などで町民と交流しました。その他、天神産紙工場での手すき和紙体験や千代の亀酒造での酒造りの見学など、内子町の文化を体験した一行は「みんな内子が好きになった」と笑顔で話していました。

5月には、内子町からの公式訪問団・18人が同市を訪問する予定です。

1_固い握手を交わす稲本隆壽町長（左）とハルトル市長　2_和太鼓集団「和達」の皆さんの協力で日本の伝統芸能を体験　3_コマ回しに挑戦　4_和紙のすき方を実演する宮脇伽奈子さん　5_小田小の児童全員にプレゼントを渡したハルトル夫人（右）

お詫びと訂正　3月号掲載の"消防出初式受賞者"のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。誤：山口淳二さん→正：山口淳仁さん